



創部五十周年によせて

会長(56期) 阿部祐之

上田高校剣道班が戦後の創部以来五十周年を迎えました。奇しくも、その創部は私の高校一年生の時でした。五十周との言葉を耳にする時、不備な道具で稚拙な剣道で過ごした三年間が懐かしく思い起こされます。

一口に五十年と言いますが、その過程では様々な曲折も数々あったことだろうと思われまふ。それだけに、五十年間も活動が継続できたという事は、本当にすばらしく大変喜ばしいことでもあります。

このような節目を祝い、剣道班の更なる発展を願って、本年度六月、次のような記念行事を実施いたしました。

その一つは、「氣迫に満ちた稽古に役立てて欲しい」との思いから、剣道班に太鼓を贈呈しました。この太鼓の購入にあたっては、



昨年五月お亡くなりになりました依田嘉人先生(32期)のご意志により、ご遺族から多大なご芳志を頂き実現したものです。

「剣風」
題字:細川武敏(41期)筆
OB会報第14号
平成18年12月1日発行
制作:c b 鼓 囃 子

50周年記念事業報告

五十周年記念事業報告

幹事長(65期) 若林 健

平成十八年六月二四日戦後創部五十周年記念行事は、現役生班長矢ヶ崎君による「依田太鼓」の叩き初めにより始まった。しかも来賓席には全日本の監督を務められる梯先生、その脇には昨年度全日本優勝者の原田悟五段、並びに内村良一五段。更には上小剣連の宮川克巳会長を迎えてという、まさに最高のシチュエーションにおいてです。

この太鼓は昨年他界された故依田嘉人先輩のご遺志によりご遺族からの寄贈になるものである。我が剣道班の新しい一頁を切り拓く合図となった瞬間でもあった。

思えば、昨年我が剣道班女子が団体戦に於いてインターハイ全国大会出場を果たし、念願の男女個人団体全ての部門で県代表が達成した喜びの中、この五十周年記念プロジェクトが始まった。「五十周年とは何か?」「何をしたら後輩達の、また我々OBの為になるのか?」「規模は?」「予算は?」「講師は?」「等々様々なことが役員会に於いて検討された。そしてある程度方向性が見えつつあった頃、メインの記念行事がどうしたら良いのか行き詰まっていた。

そんな苦しい或る日の役員会も終わりにさしかかった頃、ふと「苦しい時の宮坂頼み」とばかりに(64期)の宮坂信之さんにご相談をしてみた。すると、瓢箪から駒どころではなくダイヤモンドが出てきたではないか。持つべきは先輩。我が剣道班OB会はまさに人材の宝庫。

かくして先述の梯先生を始めとする方々のご出席を頂ける事となった次第である。宮坂さんには海外・国内の出張のお忙しい中、無理

をおして仲介の労をお執り頂いた。同じOB会員とはいえ、紙面を借りて改めて御礼を申し上げる次第である。

当日の稽古の中では、昨年の全日本選手権決勝戦の再来とも言える原田・内村両剣士の稽古も拝見でき、稽古後は梯先生よりご講評も頂き、現役諸君に対しては最高のプレゼントになったのではないかと自負している。

処を替へ、祥園に於ける梯先生の講演会には百数十名の出席を頂き、また懇親会には我が剣道班が日頃お世話になっているサドヤの佐渡武夫氏も迎え、近年にない盛大な会にする事が出来、父兄会の皆様・OB会員諸君には心より感謝申し上げます。

そして、今後も益々OB会にご支援・ご協力を賜ります事を心からお願ひ申し上げます。最後に故依田先輩ご遺族より礼状を頂戴致しております。一部をご紹介し、ご報告とさせていただきます。

「略:先日は御丁寧なお手紙と共に、剣道班OB会総会のお写真をお送り頂きました。誠に有り難うございました。早速、仏前に供え、報告をさせて頂きました。立派な太鼓を作させて頂いたばかりか、名前まで入れて頂きました。故人も本当に喜んでる事と思えます。厚く御礼申し上げます。上田高校剣道班の皆様様の御活躍とOB会益々のご発展を祈念しております。略:」



梯正治先生
原田 悟氏
内村良一氏

チーム力で戦った県大会

幹事長(82期) 近藤敏朗

連覇を狙った女子は決勝トーナメントで強敵長野商に惜敗。しかし大将の松井さんは長商の二本勝ち。彼女の今までの努力と女子全員の気持ちは見事に表した一撃だった。

そして昨夏女子団体でみせた奇跡の快進撃を今夏は男子団体が引き継いだ形となった。

初日四校リーグの二戦、勝つに勝ったがやや重い動き、同じく二勝を挙げた次の対戦校長野高に勢いを感じ、やや不安を残した。

一晩で強い気持ちが生まれるか。昨年苦杯をなめた二年生が今回のチームの主力、彼等の一年分の努力を信じるしかない心境だった。

そして大会は最終日、リーグ突破をかけた試合が始まった。結果は先鋒から一気の四連勝、胸がすくほどの快勝。苦戦が予想された試合、勝利の因は相手監督がした術に差はなかった。正直、技術の差はなかった。上田高の生徒は本当に剣道が、そしてこのチームが好きなんだと感じた。

教えて身につく所でない「チーム力」その部分でウチのチームをはるかに上回っていたと思う。

波に乗った男子はその後も勝ち進んでいく。それらは全て大将戦となつたが、苦戦というよりは前衛四人が強い気持ちで、現実には有限実行型大将の矢ヶ崎君はその全体的な任をきっちり果たした。その矢ヶ崎君が試合後笑顔でベンチに戻って来る度に、ありがたそうにうなづいて、今年の上田高剣道班の「チーム力」を「人間力」を感じずにはいられない。

結局十八年ぶりの決勝戦、総体出場こそ逃したが、昨年の女子団体の戦いが伝統の力を受け継いだ姿で、これが伝統の力なのだと確信できた。そしてこの伝統は新チームにも間違いなく伝わっている。

剣道班の先輩方、来年も大いに期待して頂きたい。

思い出すこと

仁木良子

五年勤務した上田高校を去らな... 剣道班のみならずの別れが何より... 同時に、剣道班のみならずの出会...

思い出すのは赴任した当時のこ... 私の前顧問、仁木邦彦先生... (実は現在わが夫であります。)

私が正顧問となつてから二年間... 心がけたことは、OB会の皆様を... 始めとし、保護者の皆様、上小剣...

その頃の生徒との思い出は、拳... げるときがありませぬ。全国大... 会出場を決めたときのチームは、...

昔 剣道 今昔

大正十三年校友会誌より

春も過ぎて夏休みが来た。堀内雄雄、瀧澤中兩君は此... 春も過ぎて夏休みが来た。堀内雄雄、瀧澤中兩君は此...

尚此の稽古中に高野佐三郎同泰正の兩先生御臨席あつ... 尚此の稽古中に高野佐三郎同泰正の兩先生御臨席あつ...

第一回戦 不戦優勝... 第二回戦 上中(八點)一富山中(十點)... 敵は北日本の驍將打ち込む太刀は烈風を起さんばかり...

顧問雑感

小宮山勝人

平成18年4月、母校に赴任してきました小宮山です。よろしくお願いたします... 着任早々実績ある剣道部顧問を任せられ、慣れない初めての環境に戸惑うことも多く、非力を痛感...

平成18年戦績

- 第15回長野県剣道ジュニア強化合宿練成大会(4/23) 団体戦 女子 3位... 第2回 信濃信杯杯争奪高等学校剣道大会(5/4) 団体戦 男子A ベスト16 女子 ベスト8...

50周年特集

梯正治範士の講評

講評ということで、私も最初から目を皿のようにして、何か注文をつけてやるのかと思って見ておりましたが、何もありません。皆さん大変立派でした。一回戦から、途中立派な素晴らしに見えられました。本当に素晴らしいなというのが感想です。

ただ表彰された女子の滝浪さん、それから準優勝の保坂さん、どちらが優勝してもおかしくない。皆さんもそう思うでしょう。そういう本心に伯仲したいい試合、それも内容の良かった決勝戦でした。

滝浪さんは一本先にとつても、堂々とした構えで、また攻める。一本を守ろうと思つて、守りに入つた所など微塵もない。堂々と打ち込んでいく。真正面から。こういう試合態度、素晴らしいと思います。それから保坂さんも一生懸命戦つて、いい技を二人が出し合つたという試合。これはこれからの後輩達に大変いい勉強になった。見て思うように勉強になる試合だったと思います。

それから男子の山浦君でしたね。対する清水君は一年生、一生懸命健闘しました。なかなかいい決勝戦でしたが、清水君は油断をしかか場外で一本取られましたね。これは場外反則、あるいは竹刀を落とす、思わぬところで二回やつたら反則、失格になりますからね、そういう所は良く頭に入れて、上さばく試合場を使つて、回るといって、さばくというので、これから勉強になつたと、そういうふうにも思います。山浦君はやはり三年生らしく、堂々とした技、それから気迫いっぱい、打ち込み非常に良かったと思います。決勝戦に来るまでに、随所でいい技を出しているなど、目を付けておりましたが、さすがに優勝しましたね。

他の方々も、惜しくも旗は上がらなかったけど、うん、あれは一本じゃないかなと思われる打突が随所にあつた。大変立派な試合でした。後は試合内容だけでなく、礼法、それから些

々ごと、大変立派でした。今の表彰式でも山浦君がしっかりと号令を掛けて、表彰を受けるというところができていました。今、実業団とか、教職員とか、東京では試合を良く見に行つたり審判をやつたりしますけれど、なかなかそういう所は守れない。こちらから教えるやらないと分らないんです。その人たちは皆の先輩格の人たちですよ、それができない。しかしこの上田高校はやはりその歴史と、伝統があつてさうに指導者の方も立派な指導をされていらる、そういうふうに見てとれます。皆さんはこれから稽古をすればするほど、面をつける回数、そして汗をかけた量によつてもっともつと力が付いてゆくな、こういうふうには私に楽しみに見ておきます。今日は皆さんの本心に高校生らしい、澁刺とした試合を見せて頂いて、本当にありがとうございます。

101期 上原巧也

これから皆さんの本分は勉強ですね。これから勉強、それに剣道の稽古と、皆さんのご精進と、そして更なる活躍を祈念して簡単ですが講評と代えさせていただきます。本日は戦後創部50周年おめでとうございました。

まるで夢のようだと話を聞いた時にはとても驚きました。上田高のOB会には、小手の特集といえれば必ずと言って参加される。さらには昨年度全日本選手権優勝者の原田選手と準優勝者の内村選手も参加。剣道人なら誰でも興奮する、まさにこれ以上ないというご来賓でもこの日が待ち遠しく帰省の特集を読みました。

一年 保坂 純

今回の宮下杯争奪戦は私達にとつて大変貴重でかけがえのない経験となりました。戦後五十周年記念ということでOB会の皆様のお力添えもあり梯先生、原田先生、内村先生という素晴らしい先輩をお招きすることも素晴らしい舞台で試合をさせて頂き、一緒に稽古をさせて頂けたことを班員一同、心から感謝しております。

そして試合後に行われた原田先生と内村先生の模範稽古では大変多くのことを学ばせて頂きました。礼儀、着装はもろもろのこと、相手を目の前にしたときの気迫や隙のない構え、その立ち姿から全国制覇を成し遂げた人となりの力強い魂を直接肌で感じることができました。的確な打突、迷いのない足さばき、体の底から沸き上がる気

生の言葉に深く感銘を覚えました。自分があるのは全て周りの人達のおかげである、常に感謝の気持ちを持たないといけないと思つていました。最後になりましたが、このような盛大な会を運営して下さいました諸先生、先輩方誠にありがとうございます。記念すべき会に参加できたこと、とても幸せに思っています。

保護者会会長 矢ヶ崎雅哉

上田高校剣道班の三年間は、生徒にとつて、また親にとつてもまさに『黄金の日々』でありました。高校時代は、フィジカル的にもメンタル的にも激動の毎日。一日一日がその子の人生をも左右するような重みの中で過ぎた日々もあつたように感じます。本日の意味で、生徒を支えるとはどういうことなのか、私たちが生徒と共に学び、育てられ、生かされたように感じます。

我ががく戦へり

戦後剣道班入賞記録

昭和30	荒木(30・42年)・横谷(30・42年)	両先生を顧問に剣道クラブ発足
31	春 東信大会	初出場で団体2位
35	全信州	団体2位
36	全国大会	男子団体・個人で 香山出場(高知県) 県大会1位 北信越 大会出場
37	県新人大会	団体1位
38	全国大会	男子団体・個人で 羽田文也出場(青森県) 県大会1位 北信越 大会出場
39	北信越大会	飛田ベスト8 個人で松橋出場
40	全国大会	個人で松橋出場 (静岡県)
42	県新人大会	団体1位
43	全国大会	男子団体・個人で 春原出場(佐賀県) 県大会1位 北信越 大会出場
45	県大会	団体1位
47	県新人大会	男子団体3位 女子団体3位

迫、この三つが一致したときに生まれる見事な一本が深く心に残っています。私達はまだまだ未熟ですが、あの素晴らしい一本を目標に日々精進していきます。

稽古のあとには梯先生の講演をお聞きすることもできました。まず一つは感謝の心を常に忘れないこと。そのためには常に健康であること。講演の中で感謝を受けた「生かされて今日の喜び感謝の心」というこの言葉の中には私達高校生が剣道を学んでいく中で忘れてはならない大切な教えがたくさん詰まっています。私達にとって、厳しい稽古を積み、試合に勝ち上がっていくことは本当に重要な意味を持っています。

しかし、今日私達がこうして剣を交えることができるのも、多くの方々のご理解とご協力があつてこそのことです。そんな方々に対する感謝の心を常に忘れず、上田高校らしい清く正しい剣道をめざしていきたいと思つています。

校のめざしているものは、もつと奥深い。もつと高いところにある。それは、土壇場で本場の「人」「心」が現れてきます。真の意味で、剣道班が丸ごと一丸となっているか。彼らは、戦い、ぎりぎり逆境の中で、確かなものが見えたと感じます。

上田高校は、全員がレギュラーです。試合に出る者も出ない者もありません。より上をめざして全員で心をひとつにして戦うのが上田高校の剣道です。また、同時に全員がお互いを思いやる友でなければなりません。一人一人が、自分で考え、今何をすべきか、自分が実践するしかありません。それは、最も厳しいことであり、また、最も大切なことであることを生徒は体感したと思つています。

最後の試合を終えて、私は胸を張つて言えます。上田高校剣道班は、長野県最高の子供たちです。

「本気」だったからこそ、生徒も先生も親も何度も泣き、また、何度も笑いました。彼らは上田高校剣道班に新たな歴史を刻み込みました。彼らは、それを誇りに明日から誇りとしてほしいと思つています。また、私たちが支えることができることを誇りたいと思つています。



来賓 宮川克巳

創部50周年誠にめでたくございます。この記念すべきOB会にご招待を頂き大変恐縮致しています。喜んで出席させて頂きます。

来賓 ヤマ佐渡武夫

50周年記念おめでとうでございます。ご招待を頂き有難うございます。益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

顧問 荒木豊治

健康を害していますので、欠席させて頂きます。盛会を祈ります。

顧問 長谷川良一

新しい活動の半世紀、記念の催しを心からお祝い申し上げます。輝かしい歴史の一端に参加できましたことを深く感謝しております。

顧問 野中 武

戦後創部50周年OB会おめでとうございました。立派なOB会にして下さり有難うございました。後輩の諸君も伝統を引き継ぎ頑張ってください。

顧問 丸山 温

50周年の記念すべきOB会。是非出席したかったのですが、当日どうしてもはずせない所要で県外へ行かなくてはなりません。会のご成功をお祈り致します。

34期 宮沢大七

去年9月に健康を害し、現在自宅静養観察中の次第。欠席を悪しからずご了承願います。

39期 荻原秀治

ご盛会を祈念します。

41期 細川武敏

当日教え子の同級会あり出席不能。ご盛会を祈る。

42期 宮沢安雄

高野佐三郎道場にて夏休み中に練習に参加。榎原神宮大会に出場した上中剣道部を全国に名を轟かせたこと、思い出され、傘寿を過ぎて健康でいること、剣道の鍛錬の賜と思ひます。剣道部の益々の健闘を祈っております。

44期 故 津川 寛 夫人 昌子

剣道部創部50周年おめでとうでございます。夫 浅川寛 昨年9月に帰らぬ人となりました。総会の通知を頂きましたが残念です。今後のご発展をお祈り致します。

44期 宮下英世

50周年記念OB会のご案内拝見、内容のすばらしさに驚きました。現役生の為にも優れた先生方の練習を見学すること

が出来良い研修となることでしよう。第一回宮下杯の折、見学させて頂きました。毎年継続されており、兄も喜んでのことと思ひます。剣道部のご発展を祈ります。

57期 三井宣夫

戦後創部50周年OB会おめでとうございました。OB会の益々の発展を心からお祈り致します。

57期 山浦道雄

幹事ご苦勞様です。著名な大剣士をお招きしての創部祈念の盛会を祝し、今後のご発展ご活躍をお祈り致します。

58期 保科紀文

幹事ご苦勞様です。都合により欠席させて頂きます。

59期 山口元彦

50周年記念OB会の企画と準備にご苦勞様です。いつも欠席ばかりで申し訳ございません。ご盛会を祈念します。

59期 香山 博

皆様へ会えるのを楽しみにしています。

60期 橋詰武敏

皆様へ会えるのを楽しみにしています。

62期 飛田武昭

戦後創部50周年にふさわしい今年のOB会のイベントを企画立案された幹事の皆様に感謝します。出来れば元だち稽古の時間帯にOBも梯範士にご指導頂ければと考えます。

64期 宮坂信之

幹事ご苦勞様です。

65期 窪田通人

戦後創部50周年記念OB会のご盛会を祈念します。

66期 塚塚芳幸

昨年より心臓にトラブルがあり、激しい運動が出来ません。又仕事が多忙な時期であり、皆さんには申し訳ありませんが欠席させて頂きます。

66期 清水通男

最近運動不足で何かをはじめなければと思う毎日です。

68期 岡田有司

結婚式のため欠席します。

72期 竹内茂直

上越市での勤務も丸2年になります。海のきれいな季節、お出掛け下さい。50周年記念OB会素晴らしい企画ですね。楽しみにしております。

72期 箱山康弘

OB会の皆様には大変ご無沙汰しております。50周年記念OB会の盛会を祈ります。

73期 大島英穂

遠路のため失礼させて頂きます。皆様

に宜しくお伝え下さい。(京都在住)

73期 高松理利

皆様のご活躍を期待しております。

74期 関口悦子

創部50周年記念OB会おめでとうでございます。現役生が今後益々活躍されます事またOB会が一層発展されることをお祈り申し上げます。

74期 関戸啓司

全く残念ですが、どうしても抜けられない所用が出来てしまい欠席します。会のご盛会を祈ります。

75期 渡辺隆信

スポーツ少年団指導を主に、週2回の稽古しております。指導することの難しさを痛感している毎日です。

76期 松井 敦

戦後創部50周年記念OB会おめでとうでございます。盛大に挙行されることをお祈り致します。上田高校剣道班時代のことをふと思ひ出しては苦笑いをして自分が居ります。少しずつからだを鍛え直しはじめました。

76期 宮川 正

50周年記念OB会おめでとうでございます。なかなかOB会に出席することが出来ず。なかなません。現役生の活躍ぶりも頼もしい限りです。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

77期 大石敦子

いつも剣風を楽しみにしております。

諸先輩方から同期あるいは後輩、とても多くの方々の姿が表には出なくとも紙面から見える気が致します。事務局の皆様、これからも頑張ってください。

81期 奥水正比古 父親

現在インドで仕事で帰省は6月中旬の予定になっておりますが、確定ではありませんのでこの様に御返事を差し上げようにとの指示がメールでありましたので、変わって筆を執りました。

81期 横間正人

50周年記念OB会おめでとうでございます。今春、小学校5年生になった長男が突然「剣道習いたい」と言い出しました。とても楽しいらしく毎週末近所の体育館に通っています。時々付き添いで見に行きますが、何十年振りか自分も竹刀を握ってみようか？と思う今日この頃です。

82期 菊山いずみ 山田

出席できなくて残念です。

82期 長崎 淳

役員の皆様ご苦勞様です。残念ながら欠席させて頂きます。

83期 山本和佳

毎年毎年お誘い頂きまして有難うござ

います。遠方と、仕事の都合でまた欠席します。皆様のご活躍応援しております。

86期 中村 剛

誠に残念ですが都合により欠席させて頂きます。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

89期 井原才子(山辺) 父親

川口市の青木中学で子供達の剣道を見て、土日もなかなか自由にならない様子。皆様宜しくお伝え下さい。お近くの方がいらしたら顔を出してやって下さい。

91期 大久保英幸

都合により欠席させて頂きます。

93期 加藤篤史

大阪の道場で宮坂昌之先生と稽古させて頂いております。こちらで剣道を通じて色々な人達と知り合いになり、非常に充実しております。

95期 高見澤周吾

この歳になってようやく「努力」は裏切らないという意味がわかった気がします。

95期 林 新

大学院博士課程の最終の時期のため、論文のまとめに追われて欠席します。皆様宜しく。

97期 金野美紀

この4月から就職に伴い札幌から埼玉に移りました。母校も近くなり後輩の皆さんの御活躍を楽しみにしています。よろしくお祈り致します。

101期 黒岩 誠

戦後創部50周年記念OB会おめでとうでございます。今後上田高校剣道班の益々の発展と現役生の活躍に期待しています。

101期 西澤たかせ

現在は日黒剣連で稽古しております。来年から社会人になりますが、OB会をいつまでも楽しみにしています。

101期 松林幸雄

戦後創部50周年記念OB会へのお誘い誠に有り難うございます。出席したかったのですが、仕事の都合上出席出来ません。OB会の諸先輩の皆様宜しくお伝え下さい。益々のご健勝を願っています。

101期 春口達磨

戦後創部50周年という歴史ある上田高校剣道班の一員であることを大変誇りに思っています。この度は素晴らしいOB会を企画して頂き、本当に有難うございました。楽しみにしております。

101期 長谷川勇太

創部50周年記念OB会おめでとうでございます。記念の会に出席できず残念です。会の益々のご発展をお祈りします。

昭和62	全国大会	男子個人で中村1位
63	県新人大会	男子団体1位
平成2	県新人大会	男子団体3位
3	後援会を改組してOB会結成	会長 大石 治(41期)
5	OB会誌「剣風」第一号発行	
8	県大会	女子個人で松崎3位
9	全国大会	女子個人で
10	OB会旗「剣友」作成	
11	半田孝淳氏(34期)揮毫	
12	県大会	女子団体3位
13	OB・現役生680名の名札を道場に掲げる	
14	全国定通大会	女子個人で土屋3位
15	全国定通大会	女子個人で土屋3位
17	第1回宮下杯	男子個人で石井2位
18	全国大会	女子団体出場
	県新人大会	男子団体3位
	県大会	男子団体2位
	女子個人で滝浪3位	
	戦後剣道部創設50周年記念事業として警視庁師範の梯正治範士八段、昨年全日本選手権優勝の原田悟六段、今年全日本選手権で優勝した内村良一五段をお招きし、模範稽古・合同稽古・講演会を行う。	



北信越大会を振り返って

三年男子一同

私達は、新人戦県大会三位、高校総体では県大会準優勝という結果を残した。春と夏の全国大会、インターハイの出場は惜しくも逃してしまっていた。私達はこの結果に誇りをもっていい。

私達の代では、中学時代に実績のある選手がいなかったため、自分達自身も本気で変わらなければ県大会で上位入賞することは難しかった。さらに練習時間は他校よりも短い。それでも私達は「インターハイ出場」をするために工夫をし、短時間でも中身のある稽古をした。

冬の北信越大会はひとつの挑戦であった。それは、県大会で三位になったものの、自分達の剣道が県外でここまで通用するかとということである。初戦は優勝候補とされる相手に奮闘し、惨敗。二戦目は敗戦のショックから思い通りの試合ができなかったが辛勝。チ



ームのいいところと悪いところが、はつきりした大会だった。自分達の力が通用することがわかったのと同時に、足りないところが多すぎたこともわかった。

全てをかけた高校総体県大会。私達は準優勝であった。インターハイを逃した悔しさは忘れられない。しかし、この北信越大会で勝つことも負けてもこのメンバーで試合は最後までだったので、全てを出し切り楽しむ、という気持ちで挑んだ。自分ができる全てを試合にぶつけた。最終試合は話し合った結果補員だったが新井と宮山が出ることに

なった。これは三年生だから、最後だからという理由ではなく、二人から感じられる夏にかけの思いをチームが理解していたからだ。二人はもちろん応援も含め、全員が最後まであきらめず気持持ちで打ち込んでいった。私達の夏は終わった。「終わった。」

と思うと何だか悔しい気持ちであったし、まだこのチームで剣道がしたかった。けれども、このチームで、上田高校で剣道をやった良かったと思われ、感じた。私達は最高の仲間を得た。



「現役生の声」

班長 矢ヶ崎心哉

私はこの伝統ある上田高校剣道班の主将を務めさせて頂いたことを誇りに思う。限られた時間の中で私達はやるだけのことはやったりと自負しているし、何より私には最高の仲間を得た。剣道を通じてよかったですと心から思う。

二年生の夏、私達は県大会の予選で負けてしまった。悔し涙を流して先輩が引退した。私は腹が立った、自分が勝っていたらと思わずにいられたなかった。女子が県大会優勝した時は嬉しかった。しかし、それ以上に自分が情け

宮下杯優勝者

三年 山浦 翔

宮下杯では、僕は今まで練習で培ってきた自分の力を出し切り、楽しんで試合をする事だけを考えて試合に臨んだ。初戦、二戦目と緊張のあまり本調子ではなかったものの、三戦目からは本来の力を出すことができた。そして決勝戦、この試合は梯先生・原田先生・内村先生に審判をして頂いた。

相手は一年生ながら勝ち上がった清水君、序盤は互いに有効打突を奪えなかったが、中盤に入り場外反則で僕が一本先手した。そして二本目相手の気持ちが落ち着かない内に勝負を決めてやろうと思いつき、二本目の合図と共に先を取り、思い切り面に跳んだ。これが一本となり、僕は優勝することができた。

上田高校剣道班として最後の試合に最高の打突で一本をとることが出来て本当に嬉しかった。終わりに今まで御支援を頂いたOB会の方々、未熟だった僕達をここまで育てて下さった先生方、共に励ましあった仲間達。本当にありがとうございました。

来年度のOB会は6月23日(土)です

二年 滝浪 遥

今年の宮下杯もとても素晴らしいかったです。梯先生、原田先生、内村先生がおこし下さり決勝戦の審判までして下さいました。

緊張の中、決勝戦が始まりました。相手は手の内を知り合った仲間です。張り詰めていましたが、剣道をしていて楽しいと感じました。無心になってかかっていったからでしょうか。本当に心から楽しく、またすっきりとした試合でした。

試合だけでなく、先生方による模範稽古やOBの方々から稽古をつけて頂いたり、講演会の中から皆それぞれたくさん学ぶことができました。

本当にいい経験となりました。このように経験してきたのも、私達を支えて下さっている上田高校剣道班OB会の皆様のおかげです。ありがとうございます。これからも剣道班員一同頑張っていきますのでよろしくお願ひ致します。

●会費納入のお願い●

会費 (三千元) 納入は...

三月三十一日まで

お願いします。

編集後記

今年の会報五十周年特集号となり、戦後の創部当時の様子も多くのOBの方々の脳裏に焼き付けられたことと思います。

今年56才となった私もこの二、三年仕事を通して、自分の「歴史」というものを実感しております。それは現在の自分にとって良いこと悪いこと、いずれも過去の行動の結果が長い歳月を経て現れているということです。

OB会は過去を懐かしむだけのものではなく、互いに支え合っていくべきであるという課題を通して人生を深め合うことが大切であると思います。

五十年という時間は我々OBの膨大な人生が詰まっております。それは後輩にとっても貴重な宝物です。毎回OB仲間会報で呼び掛けはありますがぜひ皆さんの語り掛けによって、十年後次の五十年後に、この会があったからこそ...という会にしてまいりましょう。

左記の連絡先にたくさんの方の投稿をお待ちしております。

新年会のお知らせ

日時 一月二日 午後五時三十分 会場 ささや

当日は午後三時より本校第二体育館にてOB・現役生合同稽古会を行います。問い合わせ先 幹事 上原巧也 (101期)

連絡先変更の方は幹事長までご連絡をお願いします。

幹事長 若林 健

〒386-0012 上田市中央二・四・一三

TEL 0268-22-15089 E-Mail: waikawa@obkendo.or.jp